

掲 載 記 事

掲載年月日

平成 24年 2月19 日

掲載紙

岩手日報

首都圏から復興応援
ツアー

久慈や野田に



浮遊物を取り除き、海水からの塩作りを行うツアー参加者

本県沿岸部の観光支援を目的とする復興応援モニターツアーで18日、首都圏からの一行15人が久慈市や野田村を訪れ、塩作り体験などを行った。

観光庁の調査事業として岩手県北観光（盛岡市）が実施。漁業者

の話を直接聞いたりボランティア活動を行う体験・交流型が特長だ。野田村玉川の南部曲がり屋では、久慈広域観光協議会の貫牛利一観光コーディネーターの案内で塩作りに挑

戦。参加者からは塩にかかわる歴史や文化に

ついて多く質問が出された。東京都足立区の木下俊輔さん（76）は「みんなが活発にボランティア活動でできるわけではなく、年齢や体力に応じた支援の在り方があると思う。お土産を買って帰るよ」と笑顔で語った。

参加者は17日夜にバスで東京を出発して県内の被災各地を訪れ、20日朝東京に戻る。

※岩手日報 平成24年2月19日付
※この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています